

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年12月15日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから12月15日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明します。

審査会合、会見の日程の3番目の案件です。

12月19日に第11回クリアランスに関する審査会合が開催されます。対応は金城長官官房審議官です。

議題は、中部電力株式会社浜岡原子力発電所1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法に係る認可申請についてです。

中部電力浜岡原子力発電所1号炉及び2号炉は、2009年に運転を停止して廃止措置を進めております。本件の申請は8月31日に行われておりまして、原子炉の廃止措置の進展に合わせて、原子炉の解体撤去に伴って生じる廃棄資材のクリアランスについて審査を行っております。前回、10月5日の審査会合に引き続きクリアランスの対象物の特定や評価手法などが議論される予定となっております。

次に、4番目の案件、第1212回原子力発電所の新規規制基準適合性に係る審査会合です。本件は、特定重大事故等対処施設に係る審査のため非公開で行われます。対応は杉山委員です。

議題は、関西電力株式会社高浜発電所1号炉、2号炉、3号炉及び4号炉の特定重大事故等対処施設に係る審査でございます。本件は、4月25日に申請を受けておりまして、特定重大事故等対処施設の変更の工事に係る審査が行われております。

12月20日、6番目の案件、第73回東海再処理施設安全監視チーム会合が開催されます。対応は田中委員です。

東海再処理安全監視チーム会合では、ガラス固化処理の実施状況や廃止措置の安全確保の在り方を定期的に確認しております。議題1では、ガラス熔融炉の更新のスケジュールを確認する予定となっております。また、現在の計画では令和10年までとなっておりますガラス固化体の製造の計画についても、進捗状況の確認などが予定されております。

議題の2では、高放射性廃液を伴わない施設の火災防護対策について議論が行われる

予定となっております。

また、再処理設備から核燃料物質を取り出す工程洗浄について、令和5年度に終了する予定となっておりますので、議題4では、工程洗浄が終わる予定の施設を性能維持施設から除くことや、議題の5では、廃止措置計画の見直しについてが議論される予定となっております。

12月21日、第1213回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。本件も特定重大事故対処施設に係るものですので非公開で行われます。対応は杉山委員です。

議題は、日本原子力発電株式会社東海第二発電所特定重大事故等対処施設に係る設計及び工事の計画の変更認可申請に係る審査についてです。

本件は、令和4年2月から4分割で申請が行われております。10月2日までに3分割目までの認可が済んでおります。今回は、今年5月31日に申請された最後の申請についての審査が行われる予定となっております。

9番目の案件、第1214回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。対応は杉山委員です。

議題は、株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの燃料体の設計の型式証明の審査です。

本件は、今年1月12日に申請がされております燃料体の設計の型式証明について審査を行うものです。11月16日の会合でスケジュールを確認し、今後、定期的に進捗の確認を行っていくとしたことから、今回は試験データや解析の方法について事業者から話を聞く予定とされております。

10番目の案件、第19回環境放射線モニタリング技術検討チームが開催されます。対応は伴委員です。

外部の専門家にも御参加をいただいて、全部で36冊あります放射能分析や放射性測定の標準的な実務マニュアルである放射能測定法シリーズについて改訂いたします。今年「放射性ストロンチウム」「放射性炭素分析法」「ヨウ素129分析法」の3冊について改訂が議論される予定となっております。

11番目の案件、第15回原子炉安全基本部会・第9回核燃料安全基本部会が開催されます。対応は市村原子力規制技監です。

議題の1では、第60回、第61回の技術情報検討会で行いましたスクリーニングについて報告され、議論がされます。

議題の2では、第2四半期の原子力規制検査の結果が報告され、議論されます。

議題の3では、原子力規制委員会との意見交換の結果も踏まえまして、安全性向上評価についての議論が行われる予定となっております。

12月22日、第1215回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。対応は石渡委員です。

議題は、東北電力株式会社東通原子力発電所の地震動評価です。

東北電力の東通発電所については、震源を特定して策定する地震動について審査が行われる予定となっております。昨年7月1日に、令和4年3月16日の福島の地震を踏まえまして、プレートモデルを見直した上で申請をするということが事業者から表明されておりまして、それを受けて審査が行われる予定となっております。

委員の現地視察の日程で、3番目の案件が新規となっております。

来年1月13日に、宮城県で地元関係者との意見交換及び東北電力株式会社女川原子力発電所の現地視察が行われまして、山中委員長と杉山委員が御出張されます。県や市・町の代表者と意見交換を行うこと予定をされております。

4番目、要人面談の案件です。

2番目の案件、新潟県及びUPZ（緊急時防護措置を準備する区域）市町の来訪が新規のものでございます。

12月19日に、新潟県防災局長ほか6名の市町の代表者が来訪されます。柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の徹底や防災対策の推進について要望を受けることが予定されております。対応は新田放射線防護企画課長ほか、担当の職員が対応いたします。

本日の案件は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノですが、12月19日の新潟県及びUPZ市町の来訪で、これは非公開である理由は何でしょうか。

○吉野総務課長 今のところ、自治体との調整の結果、非公開で行うということになっております。

○記者 PP（核物質防護）案件でも特にないと思うのですけれども、そもそもなのですか。何を話し合うのですか。

○吉野総務課長 要望活動を行いたいという御要請をいただいております、今のところ知事ではなくて代理の方がいらっしゃる予定となっていることから、特段、公開はしない形で整理がされているものです。

○記者 分かりました。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

